

R6 年度第3回学校運営協議会 議事録

校 名	府立枚方津田高等学校
校長名	吉武 進

開催日時	令和7年2月7日（金） 15:30 ～ 16:50
開催場所	大阪府立枚方津田高等学校 校長室
委 員	久保田 豊司 委員 西村 孝彦 委員 田中 博 委員 枝廣 和久 委員 原田 鉄士 委員 坂東 さとみ 委員
学 校	校長 吉武 進 教頭 谷 明道 事務長 石川 浩史 首席 佐藤 正弘（欠） 首席 橘 守亮 教諭 田野 敏彦 教諭 宇賀神 充利 教諭 江西 真弓
傍聴者	無し
協議資料	令和6年度及び7年度 学校経営計画及び学校評価
備 考	

議題等（次第順）
次第・内容 1 開会 2 校長挨拶 3 報告 （1） 37 期生進路状況 大学への進学が増加傾向にある。昨年度に引き続き 53%が大学への進学。新教育課程になったこともあり、早めに進路決定する生徒が増加。 （2） 遅刻統計 同一学年間で比べると、1・3 年生が昨年度より増加し、2 年生は昨年度より減少。このペースでいくと年間合計 1000 人超となる。他校でも同様に遅刻が増加して、頭を悩ませている状況である。コロナ禍での指導の影響もあるかと考えている。 4 協議 （1） 令和6年度学校評価 （2） 令和7年度学校経営計画 5 諸連絡 6 閉会挨拶
協議内容・承認事項等（意見の概要）
「令和6年度 学校評価」 昨年度に比べ、多くの項目で肯定率が上がっており、高評価を得た。 遠隔授業はまだ取り組んでいる高校は少ないが、生徒のニーズがあり開始した。 誰に対しても挨拶をするが、94%と高い数値を収めた。 枚方津田ニュース（ブログ）の更新回数が大幅に増加した。他に SNS も頻回行っている ストレスチェックは、100 を切るとストレスが少ないという意味だが、本校において、昨年度の 123 に対して、今年度は 91 と大幅に向上した。

「令和7年度学校経営計画」

昨年度は、中期的目標にDXハイスクールを盛り込めなかった。DXについては大学理系の進学率を上昇させることも求められている。中期的目標として12%を設定する。

英語専門コースを中心に、より高いレベルで英語5領域の運用能力を育成する。

自主学習時間について、1年生から注目して、1・2年生の自主学習時間に着目する。校務におけるデジタル化を、一層推進する。

協議「令和6年度及び7年度 学校経営計画及び学校評価」

- ・年内入試で進路先が決まった生徒は、その後、どういうことに取り組んでいるのか。
- ・総合健康リスクが123→90に大幅に向上して望ましい。実現できた理由・原因は何か。
→ 業務量・支えが二本柱。業務量はほぼ変わっていないが、周囲のフォロー（同僚、上司）がたくさんあるという回答が増加した。教頭・情報担当者が校内の多方面でデジタル化や教職員へのフォローを進めてくれたことは大きい。
- ・多くの面で高評価になっている。授業関係での評価は、○を◎に変えてもよい項目が幾つかあるのではないかと感じた。
- ・遠隔授業の開始、DXハイスクール、生徒の挨拶力など多方面に取り組んでいる。多様性の対応は、現在の教育でとても大切なことだと感じる。学習塾では枚方津田高校は、多様性を認める学校として評価されている。これらに対応するために、たくさんのことを考え、準備していくと負担増加がある中でも、ストレスチェックの総合健康リスクが向上できていることは、素晴らしいと感じた。

議決内容

- ・令和7年度 学校経営計画のめざす学校像と中期的目標について承認された。